

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 31 日 (2008.1.31)

【公開番号】特開 2006-191438 (P2006-191438A)

【公開日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)

【年通号数】公開・登録公報 2006-028

【出願番号】特願 2005-2459 (P2005-2459)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/02 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 12 月 12 日 (2007.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

互いに対向する内側面を有する第 1、2 の筐体と、
前記第 1、2 の筐体を結合するとともに、前記第 1 の筐体の内側面と前記第 2 の筐体の内側面とが相対的に接近または離隔するように前記第 1 の筐体と前記第 2 の筐体とを相対的に回動させる第 1 の軸線と、前記第 1 の筐体の内側面と前記第 2 の筐体の内側面とが平行状態を保つように前記第 1 の筐体と前記第 2 の筐体とを相対的に回動させる第 2 の軸線とを有するヒンジと、

前記第 1、2 の筐体の何れか一方に設けられた磁性体と、

前記第 1、2 の筐体の他方に設けられ、前記第 1、2 の筐体の状態を含む携帯端末の使用形態を検出するための磁気センサと、を備え、

前記磁性体および前記磁気センサは、前記第 2 の軸線から等しい距離に設置されたことを特徴とする携帯端末。

【請求項 2】

前記磁性体および前記磁気センサは、前記第 1 の軸線から等しい距離に設置されたことを特徴とする請求項 1 に記載の携帯端末。

【請求項 3】

前記磁気センサが設置された筐体にもう 1 つの磁気センサを備え、

前記もう 1 つの磁気センサおよび前記磁性体は、前記第 1 の軸線に直交する前記第 1、2 の筐体の第 1、2 の中心線から等しい距離に設置されたことを特徴とする請求項 2 に記載の携帯端末。

【請求項 4】

前記磁性体が設置された筐体にもう 1 つの磁性体を備え、

前記もう 1 つの磁性体および前記磁性体は、前記第 1 の軸線に直交する前記第 1、2 の筐体の前記第 1、2 の中心線から等しい距離に設置されたことを特徴とする請求項 3 に記載の携帯端末。

【請求項 5】

前記第 1、2 の筐体の何れか一方に画像を表示するための画面を備え、

前記画面は、前記磁気センサにより検出した前記使用形態に応じて、前記画像を回転させて表示することを特徴とする請求項 4 に記載の携帯端末。

【請求項 6】

前記第 1、2 の筐体の何れか一方にアンテナを備え、

前記アンテナは、前記磁気センサにより検出した前記使用形態に応じて、前記アンテナの受信に関わる特性を変更することを特徴とする請求項 4 または請求項 5 に記載の携帯端末。

【請求項 7】

テレビ放送の受信を制御するテレビ放送受信制御手段を備え、

前記テレビ放送受信制御手段は、前記磁気センサにより検出した前記使用形態に応じて前記テレビ放送の受信を起動することを特徴とする請求項 4 から請求項 6 までの何れかに記載の携帯端末。

【請求項 8】

映像の再生を制御する映像再生制御手段を備え、

前記映像再生制御手段は、前記磁気センサにより検出した前記使用形態に応じて前記映像の再生を起動することを特徴とする請求項 4 から請求項 6 までの何れかに記載の携帯端末。

【請求項 9】

前記磁性体は、磁石からなることを特徴とする請求項 1 から請求項 8 までの何れかに記載の携帯端末。

【請求項 10】

前記磁気センサは、ホール素子を利用したセンサからなることを特徴とする請求項 1 から請求項 9 までの何れかに記載の携帯端末。

【請求項 11】

互いに対向する内側面を有する第 1、2 の筐体と、

前記第 1、2 の筐体を結合するとともに、前記第 1 の筐体の内側面と前記第 2 の筐体の内側面とが相対的に接近または離隔するように前記第 1 の筐体と前記第 2 の筐体とを相対的に回動させる第 1 の軸線と、前記第 1 の筐体の内側面と前記第 2 の筐体の内側面とが平行状態を保つように前記第 1 の筐体と前記第 2 の筐体とを相対的に回動させる第 2 の軸線と、を有するヒンジと、

前記第 1、2 の筐体の何れか一方に設けられた磁性体と、

前記第 1、2 の筐体の他方に設けられた、前記第 1、2 の筐体の状態を含む携帯端末の使用形態を検出するための磁気センサと、を備え、

前記磁性体および前記磁気センサは、前記第 2 の軸線を中心とした特定の円周上に設置されたことを特徴とする携帯端末。

【請求項 12】

前記磁性体および前記磁気センサは、前記第 1 の軸線に対して対称に設置されたことを特徴とする請求項 11 に記載の携帯端末。

【請求項 13】

前記磁気センサが設置された筐体にもう 1 つの磁気センサを備え、

前記もう 1 つの磁気センサおよび前記磁性体は、前記第 1 の軸線に直交する前記第 1、2 の筐体の第 1、2 の中心線に対して対称に設置されたことを特徴とする請求項 12 に記載の携帯端末。

【請求項 14】

前記磁性体が設置された筐体にもう 1 つの磁性体を備え、

前記もう 1 つの磁性体および前記磁性体は、前記第 1 の軸線に直交する前記第 1、2 の筐体の前記第 1、2 の中心線に対して対称に設置されたことを特徴とする請求項 13 に記載の携帯端末。